

京都大学宇治キャンパス公開 2014 「気になる科学がきっとある！」を開催

2014年10月25～26日の二日間にわたり、宇治キャンパス公開2014「気になる科学がきっとある！」を開催し、3000人を超える多数の市民が参加され、盛況のうちに終了しました。

本研究所は宇治キャンパスで過去最多となる11の公開ラボと宇治川オープンラボラトリーで7の公開ラボ、計18の公開ラボを実施しました。

公開ラボの内容は、宇治キャンパスでは、今回初となる「サバイバルクイズ（防災クイズラリー）」、「飛ばせ気球！見つめろ地球！一空を診察して豪雨の予測に役立てます」、「宇治キャンパスお天気探検 光と温度と身近な気象」などの他、「体験！水資源～来て・みて・感じて 天然もん～」、「斜面災害研究の最先端：地震時地すべり再現試験」、「切って編んで学ぶ：ペーパークラフト地震学」、「斜面災害をもっと知る：地形・地質・地下水とランドスライド」、「防災ゲームをしよう」、「風を感じる」、「近畿の地震と活断層を探る」、「居住空間の災害を観る」。宇治川オープンラボラトリーでは、「災害映像など」、「土石流」、「都市災害のメカニズム」、「流水階段歩行」、「降雨流出」、「浸水ドア開閉」、「津波に耐える」です。

また、25日の午前10時～12時に本研究所の西嶋一欽准教授と倉田真宏助教司会による防災研究所公開講演会を行い、特別講演会では14時～14時40分に角哲也教授が「洪水災害とダムの役割 ～世代を超えて上手に使う・役立てる～」の講演を行いました。参加者は、各公開ラボで災害や防災について楽しみながら学習されていました。



